

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆鉱工業生産、12月0.3%上昇 2カ月ぶりプラス

・経済産業省が発表した2024年12月の鉱工業生産指数(2020年=100、季節調整済み)速報値は102.1となり、前月から0.3%上がった。生産用機械工業や電子部品・デバイス工業がけん引し、2カ月ぶりのプラスとなった。全15業種のうち5業種が上昇し、9業種が低下、1業種が横ばい。生産の基調判断は11月と同様に「一進一退」とした。

◆減る人口、増える働き手 24年就業者は最多の6781万人

・働く人が過去最大となった。総務省が公表した2024年の就業者数は6781万人と前年から34万人増え、比較可能な1953年以降で最も多い。女性やシニア層の就労が広がり、正規雇用が増加した。余剰労働力は乏しい。日本経済は生産性を高めながら、どう人手不足に対応するかという課題に直面する。

◆人口、東京集中に拍車 女性・若者流入続き少子化加速も

・24年の東京都では、転入者が転出者を上回る「転入超過」が7万9285人と、前年から1万1000人拡大。総務省が公表した住民基本台帳に基づく2024年の人口移動報告によると、東京への流入数が拡大し、25道府県では人口流出が加速。過度な一極集中は災害被害の集中や少子化進展などのリスクをはらむ。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆TOTOの4～12月、純利益37%増 セラミック事業が好調

・TOTOが発表した2024年4～12月期の連結決算は、純利益が前年同期比37%増の364億円。米国でウォシュレットの販売が伸びたほか、半導体製造装置向けのセラミック事業が好調だった。売上高は3%増の5423億円、営業利益は26%増の415億円。半導体製造装置部品の販売増え、セラミック事業の営業利益は85%増の142億円。

◆TOTO社長に田村取締役が昇格 中国事業の立て直し託す

・TOTOは31日、田村信也取締役専務執行役員(57)が4月1日付で社長に昇格する人事を発表。清田徳明社長(63)は代表権のある会長に就く。田村氏は米国やベトナムの現地法人の社長を務め、長い海外経験を持つ。中国市場の急減速や米国の関税引き上げの動きなど海外環境が厳しさを増すなかで、事業の立て直しを託す。

◆12月の新設住宅着工 持家3カ月連続で増加、貸家も回復

・国土交通省が公表した2024年12月の新設住宅着工戸数は、8カ月連続の減少となる6万2957戸(前年同月比2.5%減)。分譲住宅は減少したが、持家は増加が続き貸家も回復。季節調整済み年率換算値は3カ月ぶりに増加し、78万7000戸(前月比1.6%増)。持家は3カ月連続増の1万7821戸(前年同月比4.6%増)となった。

《 注目商品 》

■ノーリツ、ノンフィルターレンジフード「クララ」の手入れ性を向上

・スリムなノンフィルタータイプのレンジフード「Curara(クララ)」シリーズをモデルチェンジして3月3日に発売。フィルター掃除が不要なノンフィルタータイプで、操作しやすい独立スイッチの「Curara(クララ)」と、省エネ・静音設計の「Curara touch(クララタッチ)」の2種類。



■アキレス、遮水材保護や盛土補強に使える不織布マット

・遮水材の保護や盛土の補強など、土壌養生を行う様々な土木工事に対応する「アキレス不織布マット」を発売。合成繊維系反毛フェルトで透水性、フィルター性、耐久性、強度を備え、中間に基布を挟み込むことで施工時の寸法安定性を確保している。



■ウッドワン、板で組み立てる収納「シカクム」

・工場で加工し出荷する収納・棚板シリーズの「仕上げてる収納」から、連結式シェルフを発売。側板、仕切り板、棚板を必要な分だけ組み合わせ連結する施工で、リビング、洗面室、書斎、趣味の部屋など様々な場所に設置できる。

